報道機関の皆さんへお知らせ

報道発表資料の配付日時　９月２日（月）10 時 00 分

<table>
<tr><td>標　　題</td><td>公立高等学校配置計画（令和７年度(2025 年度)～９年度(2027 年度)）
及び令和７年度(2025 年度)公立特別支援学校配置計画について</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td></td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td></td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td>○　公立高等学校配置計画について
令和７～９年度の公立高等学校配置計画について、配付します。
配付資料
・公立高等学校配置計画（令和６年度～８年度）の概要
・公立高等学校配置計画（令和６年度～８年度）

○　令和７年度公立特別支援学校配置計画について
令和７年度の公立特別支援学校配置計画について、配付します。
配付資料
・令和７年度公立特別支援学校配置計画の概要
・令和７年度公立特別支援学校配置計画</td></tr>
<tr><td>取材に当たってのお願い</td><td>上記全ての配付資料について、次により対応願います。
<table><tr><td rowspan="2">解

禁</td><td>テレビ・ラジオ
インターネット</td><td>９月３日（火）１３時以降</td></tr><tr><td>新　　聞</td><td>９月３日（火）夕刊以降</td></tr></table>報道解禁までは、学校への取材や学校名を特定した個人への取材は、絶対におこなわないようよろしくお願いします。</td></tr>
<tr><td>連　絡　先</td><td>北海道教育庁渡島教育局企画総務課　清水　　℡：0138-47-9099</td></tr>
</table>

配布形式　電子■・紙□　　北海道教育庁渡島教育局　　ＨＰ掲載　有□・無■

解禁	テレビ・ラジオ インターネット	9月3日	13時00分以降
	新　　聞	9月3日	夕刊以降

公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の概要

○　策定の考え方

〈　趣　　旨　〉　高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本とし、中卒者数の状況を踏まえ、学校・学科の配置や規模の適正化を図るため、令和７～９年度の計画を策定するとともに、令和10～13年度までの見通しを示す。

〈基本的考え方〉　指針に基づき、教育水準の維持向上などを図る観点から、地域の実情等を考慮しながら、定員調整や再編整備等を行うとともに、多様なタイプの高校づくりを推進。

〈計　画　変　更〉　配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減、市町村立や私立高校の設置・廃止により生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合などは、計画を再検討。

1　令和７年度（2025年度）高校配置計画の変更について　（計画案からの変更箇所は、**下線**のとおり）

課程	区　分	学　校　名	計　画　変　更　の　内　容
全日制	学級増	**芦別　＋１** **深川西　＋１** **倶知安　＋１** **静内　＋１** **士別翔雲　＋１** **留萌　＋１** **湧別　＋１** **清水　＋１** **別海　＋１** **中標津　＋１**	**○令和６年度（2024年度）の入学者選抜の結果、学級減を行った16校のうち、10校について、中卒者数の状況などを勘案し、それぞれ１学級増**
		広尾　＋１	**○町内の中卒者数の状況などを総合的に勘案し、１学級増**
	再編統合・普通科新学科の設置	新設校（岩見沢市内）　＋６	○再編統合に伴い新設する普通科新学科の名称を文理探究科とする 再編統合前：岩見沢東　普通科（４学級）／岩見沢西　普通科（２学級） 新設校：文理探究科（２学級）／普通科（４学級）
	地域連携校の導入	森（協力校：函館工業）	○教育環境の維持向上を図るため、地域連携校を導入

2　令和８年度（2026年度）高校配置計画の変更について　（学校名の＊は、市町村立高校）

課程	区　分	学　校　名	計　画　変　更　の　内　容
全日制	学級減・学科転換	函館水産　▲１	○学級減に伴い、水産食品科及び品質管理流通科を食品創造科に学科転換 学科転換前：水産食品科（１学級）／品質管理流通科（１学級） 学科転換後：食品創造科（１学級）
定時制・全日制	募集停止・新設	【募集停止】 ＊ニセコ　▲１ 【新設校】 ＊(総合学科)　＋２	○設置者（ニセコ町）の決定により、生徒の在籍状況や進路希望などを勘案し、ニセコ高校（町立・定時制・農業科）を募集停止し、新設校（町立・全日制・総合学科）を設置 ○新設校は総合学科２学級、１学級当たりの定員を35人とし、ニセコ高校の校舎を使用 区分：現行／新設校 課程：定時制課程／全日制課程 学科：農業科(緑地観光科)／総合学科 学級数：１学級（定員40人）／２学級（定員70人）

3　令和９年度（2027年度）の高校配置計画について　（学校名の＊は、市町村立高校）

課程	区　分	学　校　名	主　な　計　画　の　内　容
全日制	学級減	北見商業　▲１ 釧路江南　▲１	○通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを勘案し、学級減
	募集停止	南茅部　▲１	○再編整備を留保していたが、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続10人未満となったため、募集停止
	再編統合・単位制の導入	【募集停止】 ＊市立札幌藻岩　▲６ ＊市立札幌北陵　▲６ 【新設校】 ＊(学科検討中)　＋８	○設置者（札幌市）の決定により、今後の中卒者数の状況や学校・学科の配置状況などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、２校を再編し、新設校を設置 ○新設校は８学級、校舎は市立札幌藻岩高校の敷地に新設し、設置する学科は引き続き検討 ○生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、単位制を導入

4　地域連携校の再編整備の留保について

学　校　名	主　な　計　画　の　内　容
苫前商業	○道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備を留保

解禁	テレビ・ラジオ インターネット	9月3日	13時00分以降
	新　　聞	9月3日	夕刊以降

公立高等学校配置計画

（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））

- 令和７年度（2025年度）高校配置計画変更
- 令和８年度（2026年度）高校配置計画変更
- 令和９年度（2027年度）高校配置計画

令和６年（2024年）９月

北海道教育委員会

目　　次

Ⅰ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））策定の考え方

１　趣旨 …… 1

２　中卒者数の見込み …… 1

３　基本的考え方 …… 1

４　配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の概要 …… 2

５　地域連携校等の再編整備の留保 …… 3

６　配置計画の変更 …… 3

Ⅱ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の内容

１　中学校卒業者数 …… 4

２　欠員の状況 …… 4

３　定員及び中学校卒業者数に対する割合 …… 4

４　配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の学校別内訳 …… 5

５　中学校卒業者数の推計及び推移 …… 9

Ⅲ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））学区別個表

空知南学区 …… 11
空知北学区 …… 12
石狩学区 …… 13
後志学区 …… 15
胆振西学区 …… 16
胆振東学区 …… 17
日高学区 …… 18
渡島学区 …… 19
檜山学区 …… 20
上川南学区 …… 21
上川北学区 …… 22
留萌学区 …… 23
宗谷学区 …… 24
オホーツク中学区 …… 25
オホーツク東学区 …… 26
オホーツク西学区 …… 27
十勝学区 …… 28
釧路学区 …… 29
根室学区 …… 30

Ⅰ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））策定の考え方

１　趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者数（以下「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、令和７年度（2025年度）及び令和８年度（2026年度）の計画の一部を変更し、令和９年度（2027年度）の配置計画を策定するとともに、令和10年度（2028年度）から令和13年度（2031年度）までの見通しを示すものである。

２　中卒者数の見込み

本道の中卒者数は、令和７年（2025年）に４万74人、令和８年（2026年）に3万9,976人、令和９年（2027年）に３万9,157人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

３　基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、令和５年（2023年）３月に策定した「これからの高校づくりに関する指針」改定版（以下「指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを図る観点から、市町や圏域において複数の高校が設置されている場合、関係市町村の参画を得ながら高校の役割分担や定員調整も含めた具体的な配置の在り方を検討するなど、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行う。

また、生徒の多様な学習ニーズなどに対応するため、次のとおり多様なタイプの高校づくり等を推進する。

(1) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を進める。

(2) 単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

(3) アンビシャススクールの導入

多様な学校選択幅のある学区において、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や、一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育むことに重点を置くアンビシャススクールの導入を進める。

(4) 普通科新学科の設置

学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に則した最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科及び地域や社会の将来を担う人材を育成し、現在・将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む学科の設置を進める。

(5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を検討する。

(6) 地域連携校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い(普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4)第１学年１学級の高校を地域連携校とし、協力校との連携や北海道高等学校遠隔授業配信センターからの遠隔授業の配信など、教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

４　配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の概要

決定済みの令和７年度（2025年度）及び令和８年度（2026年度）の計画を一部変更するとともに、新たに令和９年度（2027年度）の配置計画を策定する。

(1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、１学級の定員は40人とする。

(2) 令和７年度（2025年度）高校配置計画の変更

全日制課程

ア　学級増

令和６年度（2024年度）道立高等学校入学者選抜の結果、第２次募集後の入学者に１学級相当以上の欠員が生じ学級減を行った16校のうち、芦別高校など10校について、中卒者数の状況などを勘案し、それぞれ１学級増を行う。

また、広尾高校については、町内の中卒者数の状況などを勘案し、１学級増を行う。

イ　再編統合・普通科新学科の設置

岩見沢東高校及び岩見沢西高校の再編統合により設置する新設校について、検討中としていた普通科新学科の名称を文理探究科とする。

ウ　地域連携校の導入

教育環境の維持向上を図るため、新たに森高校を地域連携校とする。

(3) 令和８年度（2026年度）高校配置計画の変更

全日制課程

ア　学級減・学科転換

１学級減とする函館水産高校については、水産食品科及び品質管理流通科を食品創造科に学科転換する。

定時制課程・全日制課程

ア　募集停止・新設

設置者（二セコ町）の決定により、生徒の在籍状況や進路希望などを勘案し、二セコ高校（町立・定時制・農業科）を募集停止し、新設校（町立・全日制・総合学科）を設置する（農業科から総合学科への学科転換を変更）。

なお、新設校は総合学科２学級、１学級当たりの定員を35人とし、二セコ高校の校舎を使用する。

(4) 令和９年度（2027年度）高校配置計画

全日制課程

ア　学級減

通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを勘案し、北見商業高校、釧路江南高校の２校で各１学級の減を行う。

イ　再編整備

南茅部高校（地域連携校）について、再編整備を留保していたが、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続10人未満となったため、募集停止とする。

ウ　再編統合・単位制の導入

設置者（札幌市）の決定により、今後の中卒者数の状況や学校・学科の配置状況などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、市立札幌藻岩高校と市立札幌啓北商業高校を再編統合し、新設校を設置する。

なお、新設校の募集学級数は８学級、校舎は市立札幌藻岩高校の敷地に新設し、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、単位制を導入する。

５　地域連携校等の再編整備の留保

第１学年１学級の高校のうち、地域連携校及び全日制課程で農業、水産、看護又は福祉に関する学科を置く高校については、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続で20人未満となった場合であっても、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備を留保することとしており、こうした状況となっている苫前商業高校について、再編整備を留保する。

６　配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減、市町村立高校や私立高校の設置・廃止により、生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、学区における中卒者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

(1) 入学者選抜における第２次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し１学級相当以上の欠員が生じた場合

(2) 学級減と併せた学科転換、地域連携校の導入等を実施する場合

(3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合

Ⅱ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の内容

１　中学校卒業者数

令和６年(2024年)(実績)	40,951人	(対前年比 227人減少)
令和７年(2025年)(推計)	40,074人	(対前年比 877人減少)
令和８年(2026年)(推計)	39,976人	(対前年比 98人減少)
令和９年(2027年)(推計)	39,157人	(対前年比 819人減少)

２　欠員の状況　　（令和６年（2024年）５月１日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合　計
3,880人　(+136人)	1,082人　(-104人)	1,305人　(+333人)	6,267人　(+365人)

※（　）は対前年増減

３　定員及び中学校卒業者数に対する割合

区　分			公立			高等専門学校	私立	計
			全日制	定時制	中等教育学校			
令和6年度		定　員（人）	29,090	2,200	240	720	11,161	43,411
		割　合（%）	71.0	5.4	0.6	1.8	27.3	106.0
公立高等学校配置計画	令和7年度	学級増（人）	480	0	0	0	0	480
		学級減（人）	-84	0	0	0	0	-84
		新　設（人）	440	40	0	0	0	480
		募集停止（人）	-560	-40	0	0	0	-600
		差引増減（人）	276	0	0	0	0	276
		定　員（人）	29,366	2,200	240	720	11,161	43,687
		割　合（%）	73.3	5.5	0.6	1.8	27.9	109.0
	令和8年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-40	0	0	0	0	-40
		新　設（人）	70	0	0	0	0	70
		募集停止（人）	-40	-40	0	0	0	-80
		差引増減（人）	-10	-40	0	0	0	-50
		定　員（人）	29,356	2,160	240	720	11,161	43,637
		割　合（%）	73.4	5.4	0.6	1.8	27.9	109.2
	令和9年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-80	0	0	0	0	-80
		新　設（人）	320	0	0	0	0	320
		募集停止（人）	-520	0	0	0	0	-520
		差引増減（人）	-280	0	0	0	0	-280
		定　員（人）	29,076	2,160	240	720	11,161	43,357
		割　合（%）	74.3	5.5	0.6	1.8	28.5	110.7

※１　高等専門学校及び私立の定員については、令和７年度（2025年度）以降は見込みを記載。
※２　霧多布高校（浜中町立）は、募集定員を30人としている。
※３　えりも高校（えりも町立）は、募集定員を35人としている。
※４　大空高校（大空町立）は、令和７年度（2025年度）から募集定員を36人とする。
※５　新設校（二セコ町立、令和８年度（2026年度）開校）は、募集定員を70人（１学級当たり35人）とする。

4　配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））の学校別内訳

(1) 令和６年度（2024年度）道立高等学校入学者選抜における第２次募集後に学級減となった学校の取扱い

学区	設置	学校名	課程	小学科	Ｒ６（2024）募集学級数	Ｒ６（2024）開設学級数	Ｒ７（2025）募集学級数
空知南	道	岩見沢東	全	普通	5	4	再編統合（統合後の募集学級数は6）
	道	岩見沢西	全	普通	3	2	
空知北	道	芦別	全	普通	2	1	2
	道	深川西	全	普通	3	2	3
石狩	道	札幌西陵	全	普通	7	6	6
	道	札幌あすかぜ	全	普通	3	2	2
後志	道	倶知安	全	普通	4	3	4
胆振西	道	伊達開来	全	普通	6	5	5
日高	道	静内	全	普通	5	4	5
上川北	道	士別翔雲	全	普通	3	2	3
留萌	道	留萌	全	普通	4	3	4
オホーツク西	道	湧別	全	普通	2	1	2
十勝	道	清水	全	総合	3	2	3
	道	池田	全	総合	2	1	1
根室	道	別海	全	普通	3	2	3
	道	中標津	全	普通	4	3	4
計		１６校					

(2) 学級増減

① 学級増（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｒ７（2025）	空知南	市	岩見沢緑陵	全	普通	3	4	＋１	５学級→６学級
	空知北	道	芦別	全	普通	1	2	＋１	１学級→２学級
		道	深川西	全	普通	2	3	＋１	２学級→３学級
	後志	道	倶知安	全	普通	3	4	＋１	３学級→４学級
	日高	道	静内	全	普通	4	5	＋１	４学級→５学級
	上川北	道	士別翔雲	全	普通	2	3	＋１	３学級→４学級
	留萌	道	留萌	全	普通	3	4	＋１	５学級→６学級
	オホーツク西	道	湧別	全	普通	1	2	＋１	１学級→２学級
	十勝	道	清水	全	総合	2	3	＋１	２学級→３学級
		道	広尾	全	普通	1	2	＋１	１学級→２学級
	根室	道	別海	全	普通	2	3	＋１	３学級→４学級
		道	中標津	全	普通	3	4	＋１	４学級→５学級
	（小計）		１２校					＋１２	
Ｒ８（2026）	－								
Ｒ９（2027）	－								
計			１２校					＋１２（＋４８０）	

② 学級減

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
R7 (2025)	空知北	道	深川東	全	総合ビジネス	1	0	−1	2学級→1学級
	胆振西	道	室蘭工業	全	工業(大学科)	4	3	−1	4学級→3学級
	(小計)		2校					−2	
R8 (2026)	渡島	道	函館水産	全	水産(大学科)	4	3	−1	4学級→3学級
R9 (2027)	オホーツク中	道	北見商業	全	商業(大学科)	3	2	−1	3学級→2学級
	釧路	道	釧路江南	全	普通	5	4	−1	5学級→4学級
	(小計)		2校					−2	
計			5校					−5 (−200)	

・室蘭工業、函館水産の小学科については、「(5) 学科転換」を参照。
・北見商業の減ずる小学科については、検討中。

(3) 再編整備

① 再編統合（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	摘要
						実施前	実施後		
R7 (2025)	空知南	道	岩見沢東	全	普通	4	0	−4	4学級→0学級
				定	普通	1	0	−1	1学級→0学級
		道	岩見沢西	全	普通	2	0	−2	2学級→0学級
		道	新設校	全	文理探究	0	2	+2	6学級
					普通	0	4	+4	岩見沢西高校校舎を使用
				定	普通	0	1	+1	1学級
	上川南	道	富良野	全	普通	4	0	−4	4学級→0学級
		道	富良野緑峰	全	総合ビジネス	1	0	−1	3学級→0学級
					電気システム	1	0	−1	
					園芸科学	1	0	−1	
		道	新設校	全	普通	0	3	+3	5学級
					電気情報システム	0	1	+1	富良野緑峰高校校舎を使用
					園芸観光デザイン	0	1	+1	
	(小計)		再編に伴う募集停止4校、新設2校						
R8 (2026)	−								
R9 (2027)	石狩	市	市立札幌藻岩	全	普通	6	0	−6	6学級→0学級
		市	市立札幌啓北商業	全	未来商学	6	0	−6	6学級→0学級
		市	新設校	全	(検討中)	0	8	+8	8学級 市立札幌藻岩高校敷地に校舎を新築
計			再編に伴う募集停止6校、新設3校					−6 (−240)	

② 募集停止（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	摘要
						実施前	実施後		
R7 (2025)	胆振東	道	穂別	全	普通	1	0	−1	1学級→0学級
R8 (2026)	空知北	道	奈井江商業	全	情報処理	1	0	−1	1学級→0学級
	後志	町	ニセコ	定	緑地観光	1	0	−1	1学級→0学級
R9 (2027)	渡島	道	南茅部	全	普通	1	0	−1	1学級→0学級
計			4校					−4 (−160)	

(4) 新設（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	摘要
						実施前	実施後		
R７ (2025)	－								
R８ (2026)	後志	町	新設校	全	総合	０	２	＋２	２学級 ニセコ高校校舎を使用
R９ (2027)	－								
計			１校					＋２ （＋７０）	

(5) 学科転換（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数		学級増減数	摘要
						実施前	実施後		
R７ (2025)	胆振西	道	室蘭工業	全	建築	１	０	－１	（再掲）１学年総学級数 ４学級→３学級
					環境土木	１	０	－１	
					建設	０	１	＋１	
R８ (2026)	渡島	道	函館水産	全	水産食品	１	０	－１	（再掲）１学年総学級数 ４学級→３学級
					品質管理流通	１	０	－１	
					食品創造	０	１	＋１	
R９ (2027)	－								

(6) 単位制の導入（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	小学科	募集学級数	摘要
R７ (2025)	空知南	道	新設校	全	文理探究	２	（再掲）岩見沢東・岩見沢西の再編
					普通	４	
	上川南	道	新設校	全	普通	３	（再掲）富良野・富良野緑峰の再編
					電気情報システム	１	
					園芸観光デザイン	１	
	留萌	道	留萌	全	情報ビジネス	１	
					電気・建築	１	
R８ (2026)	－						
R９ (2027)	石狩	市	新設校	全	（検討中）	８	（再掲）市立札幌藻岩・市立札幌啓北商業の再編

(7) 普通科フィールド制の転換

実施年度	学区	設置	学校名	課程	募集学級数	摘要
R７ (2025)	石狩	道	札幌あすかぜ	全	２	普通科に転換
		道	札幌平岡	全	６	普通科に転換
R８ (2026)	－					
R９ (2027)	－					

(8) 地域連携校の導入（ 網掛け ＝ 決定済み配置計画の変更 ）

実施年度	学　　区	設置	学　校　名	課程	小　学　科	協　力　校	摘　　要
Ｒ７ (2025)	渡　　島	道	森	全	総　　合	函 館 工 業	
Ｒ８ (2026)	―						
Ｒ９ (2027)	―						

５　中学校卒業者数の推計及び推移

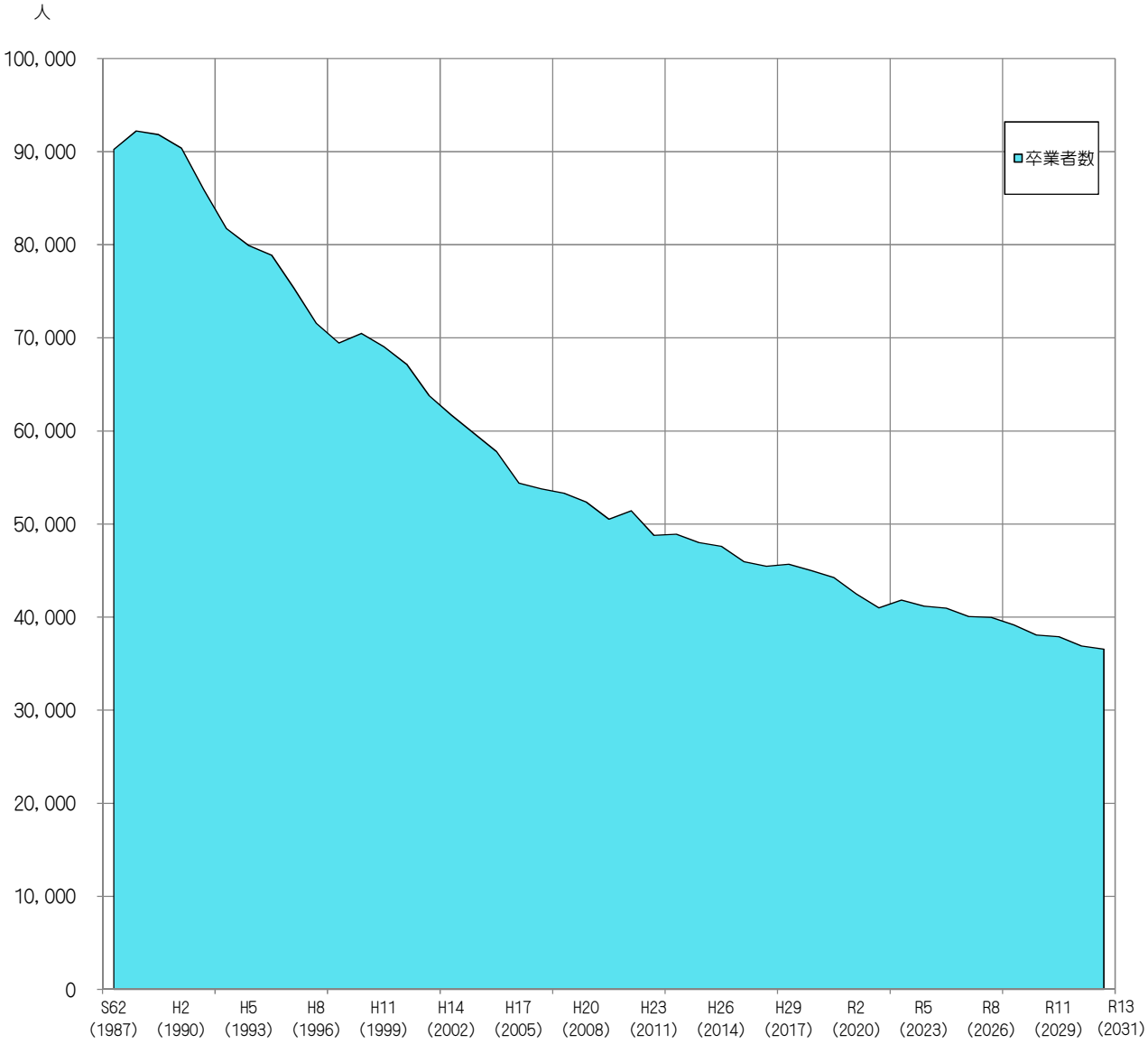
中　学　校　卒　業　者　数　推　計　表　（　令和６年(2024年)推計　）

	令和６年 (2024年)	令和７年 (2025年)	令和８年 (2026年)	令和９年 (2027年)	令和10年 (2028年)	令和11年 (2029年)	令和12年 (2030年)	令和13年 (2031年)
空知南	994	1,052 ＋58	1,030 ▲ 22	1,005 ▲ 25	929 ▲ 76	980 ＋51	911 ▲ 69	845 ▲ 66
空知北	827	820 ▲ 7	819 ▲ 1	758 ▲ 61	716 ▲ 42	731 ＋15	705 ▲ 26	679 ▲ 26
石狩	19,495	19,243 ▲ 252	19,361 ＋118	18,872 ▲ 489	18,661 ▲ 211	18,824 ＋163	18,803 ▲ 21	18,845 ＋42
後志	1,374	1,366 ▲ 8	1,327 ▲ 39	1,299 ▲ 28	1,234 ▲ 65	1,264 ＋30	1,138 ▲ 126	1,136 ▲ 2
胆振西	1,330	1,227 ▲ 103	1,187 ▲ 40	1,203 ＋16	1,184 ▲ 19	1,066 ▲ 118	1,053 ▲ 13	1,094 ＋41
胆振東	1,690	1,720 ＋30	1,672 ▲ 48	1,631 ▲ 41	1,628 ▲ 3	1,603 ▲ 25	1,527 ▲ 76	1,481 ▲ 46
日高	491	473 ▲ 18	477 ＋4	438 ▲ 39	455 ＋17	387 ▲ 68	424 ＋37	386 ▲ 38
渡島	2,928	2,721 ▲ 207	2,669 ▲ 52	2,656 ▲ 13	2,498 ▲ 158	2,471 ▲ 27	2,337 ▲ 134	2,312 ▲ 25
檜山	192	207 ＋15	212 ＋5	206 ▲ 6	177 ▲ 29	186 ＋9	156 ▲ 30	145 ▲ 11
上川南	3,312	3,255 ▲ 57	3,224 ▲ 31	3,215 ▲ 9	3,105 ▲ 110	3,117 ＋12	2,957 ▲ 160	2,925 ▲ 32
上川北	423	420 ▲ 3	393 ▲ 27	396 ＋3	380 ▲ 16	350 ▲ 30	328 ▲ 22	346 ＋18
留萌	280	263 ▲ 17	284 ＋21	267 ▲ 17	256 ▲ 11	240 ▲ 16	220 ▲ 20	185 ▲ 35
宗谷	448	425 ▲ 23	404 ▲ 21	391 ▲ 13	393 ＋2	380 ▲ 13	365 ▲ 15	346 ▲ 19
オホーツク中	1,180	1,097 ▲ 83	1,184 ＋87	1,071 ▲ 113	1,116 ＋45	1,047 ▲ 69	930 ▲ 117	968 ＋38
オホーツク東	498	482 ▲ 16	472 ▲ 10	479 ＋7	437 ▲ 42	434 ▲ 3	386 ▲ 48	390 ＋4
オホーツク西	394	380 ▲ 14	408 ＋28	406 ▲ 2	360 ▲ 46	366 ＋6	354 ▲ 12	314 ▲ 40
十勝	2,824	2,751 ▲ 73	2,709 ▲ 42	2,745 ＋36	2,614 ▲ 131	2,526 ▲ 88	2,468 ▲ 58	2,368 ▲ 100
釧路	1,653	1,590 ▲ 63	1,612 ＋22	1,525 ▲ 87	1,407 ▲ 118	1,397 ▲ 10	1,371 ▲ 26	1,311 ▲ 60
根室	618	582 ▲ 36	532 ▲ 50	594 ＋62	541 ▲ 53	525 ▲ 16	461 ▲ 64	494 ＋33
合計	40,951	40,074 ▲ 877	39,976 ▲ 98	39,157 ▲ 819	38,091 ▲ 1,066	37,894 ▲ 197	36,894 ▲ 1,000	36,570 ▲ 324

※中学校卒業者数は、令和６年（2024年）５月１日現在の小学校１年生から中学校３年生までの在籍児童･生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。
※令和６年（2024年）は実数、令和７年（2025年）以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

北海道における中学校卒業（見込）者数の推移
（昭和62年（1987年）～令和13年（2031年））

（注）１　昭和62年（1987年）～令和６年（2024年）は実卒業者数である。
　　２　令和７年（2025年）～令和13年（2031年）は学校基本調査（令和６年（2024年）５月１日現在）に準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62 (1987)	S63 (1988)	H元 (1989)	H2 (1990)	H3 (1991)	H4 (1992)	H5 (1993)	H6 (1994)	H7 (1995)	H8 (1996)	H9 (1997)	H10 (1998)	H11 (1999)
卒業者数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,550	69,441	70,462	69,047
増　減	+1,298	+1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,798	-2,109	+1,021	-1,415

年	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)
卒業者数	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,778	48,907
増　減	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	+900	-2,659	+129

年	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
卒業者数	48,015	47,620	45,958	45,458	45,689	44,989	44,255	42,496	40,983	41,845	41,178	40,951	40,074
増　減	-892	-395	-1,662	-500	+231	-700	-734	-1,759	-1,513	+862	-667	-227	-877

年	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)
卒業者数	39,976	39,157	38,091	37,894	36,894	36,570
増　減	-98	-819	-1,066	-197	-1,000	-324

Ⅲ　公立高等学校配置計画（令和７年度（2025年度）～９年度（2027年度））学区別個表

空知南学区高校配置計画

区　分	Ｒ６（2024）	Ｒ７（2025）	Ｒ８（2026）	Ｒ９（2027）	Ｒ10（2028）	Ｒ11（2029）	Ｒ12（2030）	Ｒ13（2031）	令和7～13（2025～2031）年までの増減	令和10～13（2028～2031）年までの増減
学区内中卒者数	994	1,052	1,030	1,005	929	980	911	845	▲ 149	▲ 160
対前年増減		＋ 58	▲ 22	▲ 25	▲ 76	＋ 51	▲ 69	▲ 66		
岩見沢市中卒者数	（ 580 ）	（ 582 ）	（ 596 ）	（ 586 ）	（ 527 ）	（ 554 ）	（ 504 ）	（ 484 ）	▲ 96	▲ 102
対前年増減		＋ 2	＋ 14	▲ 10	▲ 59	＋ 27	▲ 50	▲ 20		
美唄市中卒者数	（ 114 ）	（ 124 ）	（ 107 ）	（ 89 ）	（ 96 ）	（ 98 ）	（ 101 ）	（ 75 ）	▲ 39	▲ 14
対前年増減		＋ 10	▲ 17	▲ 18	＋ 7	＋ 2	＋ 3	▲ 26		
三笠市中卒者数	（ 45 ）	（ 46 ）	（ 47 ）	（ 32 ）	（ 44 ）	（ 35 ）	（ 40 ）	（ 40 ）	▲ 5	＋ 8
対前年増減		＋ 1	＋ 1	▲ 15	＋ 12	▲ 9	＋ 5	± 0		
夕張市中卒者数	（ 35 ）	（ 28 ）	（ 24 ）	（ 33 ）	（ 23 ）	（ 23 ）	（ 19 ）	（ 18 ）	▲ 17	▲ 15
対前年増減		▲ 7	▲ 4	＋ 9	▲ 10	± 0	▲ 4	▲ 1		

学校名	令和６年度（2024年度）の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	Ｒ６（2024）欠員	令和７年度（2025年度）	令和８年度（2026年度）	令和９年度（2027年度）	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
岩見沢東	5→4		4	11	普▲4			○４年間で４学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い岩見沢市を中心に、周辺市町を含めた公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、早急に定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	R６(2024)入選第２次募集後学級減
（岩見沢東）	（1）		（1）	（29）	（普▲１）				
単　岩見沢西	3→2		2	15	普▲2				R６(2024)入選第２次募集後学級減
新設校					普＋６ 単位制導入 普通科新学科設置				月形、夕張の協力校 岩見沢西高校校舎を使用
（新設校）					（普＋１）				
岩見沢農業		農　7	7	80					
*岩見沢緑陵	3	商　2	5	21	普＋1				
総　美唄尚栄	2		2	29					
美唄聖華		看　2	2	37					
*三　笠		家　1	1	0					
地　月　形	1		1	24					再編整備留保
地　夕　張	1		1	14					
長　沼	2		2	36					
栗　山	2		2	31					
11校	19→17	12	29	298	普▲６　普＋７				

注１　学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。（以下同）

注２　学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「普新」は普通科新学科設置校、「フ」はフィールド制、「ア」はアンビシャススクール、「中高」は連携型中高一貫教育校、「中等」は中等教育学校、「地」は地域連携校。（以下同）

注３　学校名の＊は市町村立学校。（以下同）

注４　令和６年度（2024年度）募集学級数の「→」表示は、第２次募集後の学級減を実施したことを示す。（以下同）

注５「令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し」欄の学級数の調整については令和13年（2031年）と令和９年（2027年）の中卒者数の比較により算出。（以下同）

注６　新設校（岩見沢市内）の学科は、普通科新学科２学級、普通科４学級を設置する。

注７　（　　）は定時制課程で計欄に含まない。（岩見沢東及び新設校（岩見沢市内））

空知北学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	827	820	819	758	716	731	705	679	▲ 148	▲ 79
対前年増減		▲ 7	▲ 1	▲ 61	▲ 42	＋ 15	▲ 26	▲ 26		
滝川市中卒者数	(275)	(289)	(283)	(289)	(234)	(249)	(216)	(218)	▲ 57	▲ 71
対前年増減		＋ 14	▲ 6	＋ 6	▲ 55	＋ 15	▲ 33	＋ 2		
砂川市中卒者数	(119)	(108)	(109)	(87)	(97)	(78)	(98)	(85)	▲ 34	▲ 2
対前年増減		▲ 11	＋ 1	▲ 22	＋ 10	▲ 19	＋ 20	▲ 13		
歌志内市中卒者数	(13)	(11)	(4)	(10)	(7)	(7)	(3)	(7)	▲ 6	▲ 3
対前年増減		▲ 2	▲ 7	＋ 6	▲ 3	± 0	▲ 4	＋ 4		
芦別市中卒者数	(64)	(61)	(62)	(52)	(54)	(51)	(50)	(37)	▲ 27	▲ 15
対前年増減		▲ 3	＋ 1	▲ 10	＋ 2	▲ 3	▲ 1	▲ 13		
赤平市中卒者数	(49)	(50)	(42)	(50)	(36)	(44)	(35)	(32)	▲ 17	▲ 18
対前年増減		＋ 1	▲ 8	＋ 8	▲ 14	＋ 8	▲ 9	▲ 3		
深川市中卒者数	(116)	(118)	(120)	(99)	(121)	(118)	(115)	(108)	▲ 8	＋ 9
対前年増減		＋ 2	＋ 2	▲ 21	＋ 22	▲ 3	▲ 3	▲ 7		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単　滝　川	5		5	25				○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況などを考慮し、滝川市内における再編整備を含めた公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	
滝川工業		工　2	2	28					
*滝 川 西	3	商　3	6	44					
単　砂　川	2		2	30					
奈井江商業		商　1	1	31		商▲1			
新十津川農業		農　1	1	2					
芦　別	2→1		1	14	普＋1 (計画変更)				R６(2024)入選第２次募集後学級減
深 川 西	3→2		2	7	普＋1 (計画変更)				R６(2024)入選第２次募集後学級減
深 川 東		農　1 商　1	2	54	商▲1				
9校	15 →13	9	22	235	普＋2 商▲1	商▲1			

石狩学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	19,495	19,243	19,361	18,872	18,661	18,824	18,803	18,845	▲ 650	▲ 27
対前年増減		▲ 252	＋ 118	▲ 489	▲ 211	＋ 163	▲ 21	＋ 42		
札幌市中卒者数	(15,468)	(15,346)	(15,522)	(15,046)	(14,934)	(15,027)	(15,034)	(15,072)	▲ 396	＋ 26
対前年増減		▲ 122	＋ 176	▲ 476	▲ 112	＋ 93	＋ 7	＋ 38		
江別市中卒者数	(1,185)	(1,130)	(1,200)	(1,189)	(1,176)	(1,245)	(1,223)	(1,210)	＋ 25	＋ 21
対前年増減		▲ 55	＋ 70	▲ 11	▲ 13	＋ 69	▲ 22	▲ 13		
千歳市中卒者数	(928)	(877)	(856)	(881)	(844)	(871)	(842)	(863)	▲ 65	▲ 18
対前年増減		▲ 51	▲ 21	＋ 25	▲ 37	＋ 27	▲ 29	＋ 21		
恵庭市中卒者数	(629)	(651)	(628)	(612)	(594)	(620)	(613)	(623)	▲ 6	＋ 11
対前年増減		＋ 22	▲ 23	▲ 16	▲ 18	＋ 26	▲ 7	＋ 10		
北広島市中卒者数	(573)	(618)	(549)	(550)	(526)	(494)	(528)	(455)	▲ 118	▲ 95
対前年増減		＋ 45	▲ 69	＋ 1	▲ 24	▲ 32	＋ 34	▲ 73		
石狩市中卒者数	(577)	(498)	(505)	(480)	(487)	(463)	(461)	(504)	▲ 73	＋ 24
対前年増減		▲ 79	＋ 7	▲ 25	＋ 7	▲ 24	▲ 2	＋ 43		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
札 幌 東	8		8	-2				○４年間で公私比率勘案後０～１学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、札幌市の整備計画も踏まえた上で、札幌市内の再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○複数の学科を設置している定時制課程について、いずれかの学科で５月１日現在の第１学年の在籍者数が１０人未満となりその後も生徒数の増が見込まれない場合は、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要（札幌工業、札幌琴似工業）	
札 幌 西	8		8	0					
札 幌 南	8		8	-2					
札 幌 北	8		8	-1					
札幌月寒	8		8	0					
札幌啓成	8		8	0					
札幌北陵	8		8	0					
単　札幌手稲	8		8	0					
札幌丘珠	7		7	19					
札幌西陵	7→6		6	6					R６(2024)入選第２次募集後学級減
単　札幌白石	7		7	0					
単　札幌東陵	7		7	-1					
札幌南陵	2		2	24					
札幌東豊	3		3	15					
総　札幌厚別	7		7	-2					
札幌真栄	5		5	0					
フ 札幌あすかぜ	3→2		2	2	普通科ﾌｨｰﾙﾄﾞ制を普通科に転換				R６(2024)入選第２次募集後学級減
札幌稲雲	7		7	13					
フ　札幌平岡	6		6	-1	普通科ﾌｨｰﾙﾄﾞ制を普通科に転換				
単　札幌英藍	7		7	0					

学校名	令和６年度（2024年度）の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６（2024）欠員	令和７年度（2025年度）	令和８年度（2026年度）	令和９年度（2027年度）	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
札幌白陵	2		2	15					
札幌国際情報	4	工 1 商 3	8	−1					
江　別	5	商 1 家 1	7	17					
ア 野　幌	3		3	29					
単 大　麻	7		7	1					
千　歳	6	商 2	8	0					
総ア 千歳北陽	4		4	37					
単 北広島	7		7	0					
北広島西	4		4	13					
石狩南	7		7	0					
当　別	1	農 1 家 1	3	39					
恵庭南	7		7	15					
恵庭北	6		6	18					
札幌工業		工 8	8	33					
札幌琴似工業		工 8	8	49					
札幌東商業		商 8	8	−2					
総 石狩翔陽	8		8	0					
単 *市立札幌旭丘	8		8	−4					
単 *市立札幌藻岩	6		6	−3			普▲6		
*市立札幌啓北商業		商 6	6	−2			商▲6		
*新設校							＋8 単位制導入 （学科検討中）		市立札幌藻岩高校敷地に校舎を新築
*市立札幌平岸	8		8	−1					
単 *市立札幌清田	6		6	0					
中等 *市立札幌開成	4		4	5					
*市立札幌新川	8		8	−1					
44校	243→241	40	281	327			普▲6　商▲6 ＋8（学科検討中）		

後志学区高校配置計画

区　分	R６(2024)	R７(2025)	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	令和7～13(2025～2031)年までの増減	令和10～13(2028～2031)年までの増減
学区内中卒者数	1,374	1,366	1,327	1,299	1,234	1,264	1,138	1,136	▲ 238	▲ 163
対前年増減		▲ 8	▲ 39	▲ 28	▲ 65	＋ 30	▲ 126	▲ 2		
小樽市中卒者数	(724)	(712)	(679)	(686)	(624)	(628)	(591)	(593)	▲ 131	▲ 93
対前年増減		▲ 12	▲ 33	＋ 7	▲ 62	＋ 4	▲ 37	＋ 2		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
小樽潮陵	5		5	14				○４年間で公私比率勘案後２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、小樽市内における定員調整の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要 ○小樽市内の定時制課程について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が１０人未満となるなど小規模化していることから、生徒の進路動向を踏まえながら今後の在り方について検討が必要	
単　小樽桜陽	5		5	15					
単 小樽未来創造		工 2 商 2	4	16					
小樽水産		水 4	4	47					
総　余市紅志	1		1	4					
単　岩　内	2	商 1	3	55					寿都の協力校
地　寿　都	1		1	14					
単　倶知安	4→3		3	0	普＋１ (計画変更)				蘭越の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
地　蘭　越	1		1	30					
倶知安農業		農 1	1	18					
（＊ニセコ）		（農１）	(1)	(0)		（農▲１）			
＊新設校						総＋２			ニセコ高校校舎を使用
10校	19 →18	10	28	213	普＋１	総＋２			

注（　）は定時制課程で計欄に含まない。（ニセコ）

胆振西学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	1,330	1,227	1,187	1,203	1,184	1,066	1,053	1,094	▲ 236	▲ 109
対前年増減		▲ 103	▲ 40	＋ 16	▲ 19	▲ 118	▲ 13	＋ 41		
室蘭市中卒者数	(567)	(517)	(507)	(535)	(515)	(448)	(444)	(455)	▲ 112	▲ 80
対前年増減		▲ 50	▲ 10	＋ 28	▲ 20	▲ 67	▲ 4	＋ 11		
登別市中卒者数	(398)	(360)	(360)	(352)	(361)	(322)	(304)	(348)	▲ 50	▲ 4
対前年増減		▲ 38	± 0	▲ 8	＋ 9	▲ 39	▲ 18	＋ 44		
伊達市中卒者数	(269)	(255)	(217)	(236)	(217)	(217)	(203)	(221)	▲ 48	▲ 15
対前年増減		▲ 14	▲ 38	＋ 19	▲ 19	± 0	▲ 14	＋ 18		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
室 蘭 栄	5		5	0				○４年間で公私比率勘案後２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、最も学校・学級数が多い室蘭市を中心に、周辺市町も含めた圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	
単 室蘭清水丘	4		4	23					
総 室蘭東翔	4		4	0					
室蘭工業		工 4	4	67	工▲1				
単 登別青嶺	3		3	0					
中等 登別明日	2		2	7					
単 伊達開来	6→5		5	14					虻田の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
地 虻 田		商 1	1	28					
*壮 瞥		農 1	1	24					
9校	24 →23	6	29	163	工▲1				

胆振東学区高校配置計画

区　分	R６(2024)	R７(2025)	R８(2026)	R９(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	令和7～13(2025～2031)年までの増減	令和10～13(2028～2031)年までの増減
学区内中卒者数	1,690	1,720	1,672	1,631	1,628	1,603	1,527	1,481	▲ 209	▲ 150
対前年増減		＋ 30	▲ 48	▲ 41	▲ 3	▲ 25	▲ 76	▲ 46		
苫小牧市中卒者数	(1,468)	(1,467)	(1,448)	(1,432)	(1,409)	(1,405)	(1,339)	(1,300)	▲ 168	▲ 132
対前年増減		▲ 1	▲ 19	▲ 16	▲ 23	▲ 4	▲ 66	▲ 39		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
苫小牧東	6		6	−1				○４年間で公私比率勘案後２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、苫小牧市内及び周辺町における再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要	厚真の協力校
苫小牧西	4		4	0					穂別の協力校
単　苫小牧南	4		4	19					
苫小牧工業		工　6	6	9					
苫小牧総合経済		商　3	3	−1					
白 老 東	2		2	19					
地　厚　真	1		1	14					
地　穂　別	1		1	39	普▲1				
追　分	1		1	7					
中高　鵡　川	2		2	29					
10校	21	9	30	134	普▲1				

日高学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	491	473	477	438	455	387	424	386	▲ 105	▲ 52
対前年増減		▲ 18	＋ 4	▲ 39	＋ 17	▲ 68	＋ 37	▲ 38		
浦河町中卒者数	(101)	(72)	(99)	(67)	(72)	(59)	(76)	(59)	▲ 42	▲ 8
対前年増減		▲ 29	＋ 27	▲ 32	＋ 5	▲ 13	＋ 17	▲ 17		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
単　静　内	5→4		4	6	普＋１ (計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況を考慮し、学区全体の高校配置の在り方について検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要 なお、集中取組期間中において、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続で１０人未満となった場合は、再編整備を進める	平取の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
静内農業		農 2	2	33					
富　川	1		1	16					
地　平　取	1		1	34					再編整備留保
総　浦　河	3		3	36					
中高 *え り も	2		2	47					
6校	12 →11	2	13	172	普＋１				

渡島学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	2,928	2,721	2,669	2,656	2,498	2,471	2,337	2,312	▲ 616	▲ 344
対前年増減		▲ 207	▲ 52	▲ 13	▲ 158	▲ 27	▲ 134	▲ 25		
函館市中卒者数	(1,885)	(1,753)	(1,742)	(1,740)	(1,602)	(1,635)	(1,544)	(1,524)	▲ 361	▲ 216
対前年増減		▲ 132	▲ 11	▲ 2	▲ 138	＋ 33	▲ 91	▲ 20		
北斗市中卒者数	(448)	(380)	(367)	(358)	(367)	(300)	(327)	(305)	▲ 143	▲ 53
対前年増減		▲ 68	▲ 13	▲ 9	＋ 9	▲ 67	＋ 27	▲ 22		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
函館中部	5		5	0				○４年間で公私比率勘案後５～６学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数やこれまでの定員調整の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、函館市内及び周辺市町における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○地域連携校以外の第１学年１学級の高校について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、再編整備の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	南茅部の協力校
単　函館西	6		6	0					松前の協力校
単　＊市立函館	5		5	0					
函館水産		水　4	4	50		水▲1			
函館商業		商　4	4	0					福島商業の協力校
函館工業		工　5	5	0					森の協力校
地　南茅部	1		1	36			普▲1		
上　磯	1		1	26					
七　飯	3		3	23					
大野農業		農　3	3	67					
地　松　前	1		1	20					
＊知内	2		2	40					
地　福島商業		商　1	1	11					
八　雲	2	商　1	3	55					長万部の協力校
総　森	1		1	22	地域連携校導入（計画変更）				
地　長万部	1		1	28					再編整備留保
16校	28	18	46	378		水▲1	普▲1		

檜山学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	192	207	212	206	177	186	156	145	▲ 47	▲ 61
対前年増減		＋ 15	＋ 5	▲ 6	▲ 29	＋ 9	▲ 30	▲ 11		
江差町中卒者数	（ 44 ）	（ 39 ）	（ 41 ）	（ 35 ）	（ 36 ）	（ 38 ）	（ 26 ）	（ 20 ）	▲ 24	▲ 15
対前年増減		▲ 5	＋ 2	▲ 6	＋ 1	＋ 2	▲ 12	▲ 6		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単　江　差	2		2	30				○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況を考慮し、学区全体の高校配置の在り方について検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	上ノ国の協力校
地　上ノ国	1		1	26					再編整備留保
総　檜山北	2		2	30					
中高　＊奥　尻	1		1	21					
4校	6	0	6	107					

上川南学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	3,312	3,255	3,224	3,215	3,105	3,117	2,957	2,925	▲ 387	▲ 290
対前年増減		▲ 57	▲ 31	▲ 9	▲ 110	＋ 12	▲ 160	▲ 32		
旭川市中卒者数	(2,573)	(2,515)	(2,465)	(2,474)	(2,379)	(2,404)	(2,291)	(2,274)	▲ 299	▲ 200
対前年増減		▲ 58	▲ 50	＋ 9	▲ 95	＋ 25	▲ 113	▲ 17		
富良野市中卒者数	(162)	(144)	(175)	(153)	(159)	(148)	(119)	(114)	▲ 48	▲ 39
対前年増減		▲ 18	＋ 31	▲ 22	＋ 6	▲ 11	▲ 29	▲ 5		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
旭 川 東	6		6	1				○４年間で公私比率勘案後４～５学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、旭川市内及び周辺町における再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○地域連携校以外の第１学年１学級の高校について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続して２０人未満となった場合は、再編整備の検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	
単 旭 川 西	5		5	0					
単 旭 川 北	5		5	-1					
総 旭 川 南	5		5	0					
単 旭川永嶺	5		5	0					
旭川商業		商 5	5	0					
旭川工業		工 6	6	35					
旭川農業		農 4	4	7					
鷹　栖	1		1	21					
東　川	2		2	9					
美　瑛	1		1	23					
中高 上　川	1		1	19					
単 富 良 野	4		4	31	普▲4				
富良野緑峰		商 1 工 1 農 1	3	76	商▲1 工▲1 農▲1				
新設校					普＋3 工＋1 農＋1 単位制導入				富良野緑峰高校校舎を使用
上富良野	1		1	18					
*南富良野	1		1	20					
16校	37	18	55	259	普▲4　商▲1 工▲1　農▲1 普＋3　工＋1 農＋1				

上川北学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	423	420	393	396	380	350	328	346	▲ 77	▲ 50
対前年増減		▲ 3	▲ 27	＋ 3	▲ 16	▲ 30	▲ 22	＋ 18		
士別市中卒者数	(119)	(127)	(109)	(119)	(81)	(104)	(88)	(92)	▲ 27	▲ 27
対前年増減		＋ 8	▲ 18	＋ 10	▲ 38	＋ 23	▲ 16	＋ 4		
名寄市中卒者数	(198)	(181)	(173)	(185)	(190)	(163)	(170)	(169)	▲ 29	▲ 16
対前年増減		▲ 17	▲ 8	＋ 12	＋ 5	▲ 27	＋ 7	▲ 1		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
士別翔雲	3→2	商　1	3	31	普＋１ (計画変更)			○４年間で１～２学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要	下川商業の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
地　下川商業		商　1	1	6					
単　名　寄	4	工　1	5	63					美深の協力校
地　美　深	1		1	12					
総　*剣　淵	1		1	28					
*おといねっぷ 美術工芸	1		1	4					
6校	10→ 9	3	12	144	普＋１				

留萌学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	280	263	284	267	256	240	220	185	▲ 95	▲ 82
対前年増減		▲ 17	＋ 21	▲ 17	▲ 11	▲ 16	▲ 20	▲ 35		
留萌市中卒者数	(125)	(115)	(117)	(133)	(93)	(103)	(107)	(81)	▲ 44	▲ 52
対前年増減		▲ 10	＋ 2	＋ 16	▲ 40	＋ 10	＋ 4	▲ 26		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単　留　萌	4→3	工　1 商　1	5	52	普＋１ (計画変更) 工業科・商業科 単位制導入			○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、早急に定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	苫前商業、天塩の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
羽　幌	2		2	36					
地　苫前商業		商　1	1	22					再編整備留保
地　天　塩	1		1	12					
遠別農業		農　1	1	26					
5校	7→6	4	10	148	普＋１				

宗谷学区高校配置計画

区　分	Ｒ６ (2024)	Ｒ７ (2025)	Ｒ８ (2026)	Ｒ９ (2027)	Ｒ10 (2028)	Ｒ11 (2029)	Ｒ12 (2030)	Ｒ13 (2031)	令和7～13 (2025～ 2031)年までの増減	令和10～13 (2028～ 2031)年までの増減
学区内中卒者数	448	425	404	391	393	380	365	346	▲ 102	▲ 45
対前年増減		▲ 23	▲ 21	▲ 13	＋ 2	▲ 13	▲ 15	▲ 19		
稚内市中卒者数	(230)	(215)	(224)	(212)	(216)	(212)	(209)	(176)	▲ 54	▲ 36
対前年増減		▲ 15	＋ 9	▲ 12	＋ 4	▲ 4	▲ 3	▲ 33		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	Ｒ６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単　稚　内	3	商 1 看 1	5	50				○４年間で公私比率勘案後０～１学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要	豊富の協力校 普通科、商業科単位制
地　豊　富	1		1	25					再編整備留保
浜　頓　別	1		1	7					
枝　幸	2		2	36					
利　尻	1		1	24					
礼　文	1		1	22					
6校	9	2	11	164					

オホーツク中学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	1,180	1,097	1,184	1,071	1,116	1,047	930	968	▲ 212	▲ 103
対前年増減		▲ 83	＋ 87	▲ 113	＋ 45	▲ 69	▲ 117	＋ 38		
北見市中卒者数	(918)	(834)	(909)	(819)	(849)	(822)	(736)	(780)	▲ 138	▲ 39
対前年増減		▲ 84	＋ 75	▲ 90	＋ 30	▲ 27	▲ 86	＋ 44		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
北見北斗	6		6	14				○４年間で公私比率勘案後２～３学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、北見市内及び周辺町における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要 なお、集中取組期間中において、５月１日現在の第１学年の在籍者数が２年連続で１０人未満となった場合は、再編整備を進める	常呂の協力校
単　北見柏陽	5		5	0					佐呂間の協力校
単　北見緑陵	3		3	0					
北見工業		工　3	3	59					
北見商業		商　3	3	10			商▲１		
置　戸		福　1	1	31					再編整備留保
地　佐呂間	1		1	15					
地　常　呂	1		1	30					再編整備留保
訓子府	1		1	3					
地　津　別	1		1	16					
美　幌	2	農　1	3	47					津別の協力校
11校	20	8	28	225			商▲１		

オホーツク東学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	498	482	472	479	437	434	386	390	▲ 108	▲ 89
対前年増減		▲ 16	▲ 10	＋7	▲ 42	▲ 3	▲ 48	＋4		
網走市中卒者数	(256)	(262)	(259)	(254)	(232)	(229)	(176)	(211)	▲ 45	▲ 43
対前年増減		＋6	▲ 3	▲ 5	▲ 22	▲ 3	▲ 53	＋35		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単 網走南ケ丘	4		4	1				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	清里の協力校
網走桂陽	2	商 2	4	51					
総 斜 里	1		1	9					
地 清 里	1		1	17					
総 ＊大 空	1		1	-1					
5校	9	2	11	77					

オホーツク西学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	394	380	408	406	360	366	354	314	▲ 80	▲ 92
対前年増減		▲ 14	＋ 28	▲ 2	▲ 46	＋ 6	▲ 12	▲ 40		
紋別市中卒者数	(130)	(113)	(136)	(144)	(109)	(129)	(121)	(96)	▲ 34	▲ 48
対前年増減		▲ 17	＋ 23	＋ 8	▲ 35	＋ 20	▲ 8	▲ 25		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
単　遠　軽	5		5	35				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、早急に定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要 ○２年連続で２０人未満となったため、集中取組期間（地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した一定の期間）を設けて再編整備を留保されている地域連携校等については、取組内容やその効果などに大きな変動がある場合、必要に応じて集中取組期間の見直しを検討することとしており、一層魅力ある高校づくりを推進し入学者を確保することが必要 ○定時制課程について、５月１日現在の第１学年の在籍者数が３年連続で１０人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、定時制課程の配置状況を考慮しながら、再編整備の検討が必要（遠軽）	
紋　別	3	商　1 工　1	5	80					興部、雄武の協力校
地　興　部	1		1	24					再編整備留保
地　雄　武	1		1	21					
中高　湧　別	2→1		1	9	普＋１ (計画変更)				R６(2024)入選第２次募集後学級減
5校	12→11	2	13	169	普＋１				

十勝学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	2,824	2,751	2,709	2,745	2,614	2,526	2,468	2,368	▲ 456	▲ 377
対前年増減		▲ 73	▲ 42	＋ 36	▲ 131	▲ 88	▲ 58	▲ 100		
帯広市中卒者数	(1,329)	(1,321)	(1,277)	(1,340)	(1,283)	(1,199)	(1,218)	(1,149)	▲ 180	▲ 191
対前年増減		▲ 8	▲ 44	＋ 63	▲ 57	▲ 84	＋ 19	▲ 69		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
帯広柏葉	6		6	-1				○４年間で公私比率勘案後７～８学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数や生徒の進路動向、学校・学科の配置状況などを考慮し、帯広市内及び周辺町における再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○第１学年１学級の高校のうち、地理的状況から再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い高校については、地域連携校に位置付け、遠隔授業の配信による教育課程の充実や、地域と連携した高校の魅力化等により、可能な限り存続を図ることが必要	本別の協力校
単 帯広三条	6		6	0					
帯広緑陽	4		4	-1					
帯広工業		工 4	4	24					
帯広農業		農 5	5	23					
＊帯広南商業		商 5	5	0					
単 音更	3		3	13					
芽室	4		4	0					
幕別清陵	3		3	30					
上士幌	2		2	24					
＊士幌		農 2	2	29					
総 清水	3→2		2	2	総＋１ (計画変更)				R６(2024)入選第２次募集後学級減
中高 鹿追	2		2	5					
更別農業		農 2	2	34					
普新 大樹	1		1	15					
中高 広尾	1		1	14	普＋１ (計画変更)				
総 池田	2→1		1	19					R６(2024)入選第２次募集後学級減
地 本別	1		1	8					
足寄	2		2	16					
19校	40→38	18	56	254	総＋１ 普＋１				

釧路学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの増減
学区内中卒者数	1,653	1,590	1,612	1,525	1,407	1,397	1,371	1,311	▲ 342	▲ 214
対前年増減		▲ 63	＋ 22	▲ 87	▲ 118	▲ 10	▲ 26	▲ 60		
釧路市中卒者数	(1,209)	(1,180)	(1,205)	(1,150)	(1,048)	(1,031)	(1,006)	(967)	▲ 242	▲ 183
対前年増減		▲ 29	＋ 25	▲ 55	▲ 102	▲ 17	▲ 25	▲ 39		

学校名	令和６年度(2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６(2024)欠員	令和７年度(2025年度)	令和８年度(2026年度)	令和９年度(2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度）までの見通し	摘要
普新 釧路湖陵	5		5	0				○４年間で公私比率勘案後４～５学級に相当する中卒者の減 ○中卒者数やこれまでの定員調整の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、釧路市内及び周辺町村における圏域での再編整備を含めた定員調整など、公立高校全体の配置の在り方の検討が必要 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	阿寒の協力校
単 釧路江南	5		5	3			普▲1		弟子屈の協力校
釧路商業		商 3	3	0					
釧路工業		工 5	5	36					
総 釧路明輝	4		4	0					
単 ＊釧路北陽	5		5	0					
釧 路 東	2		2	1					
地 阿　寒	1		1	23					
白　糠	1		1	17					
総 標　茶	2		2	27					
地 弟 子 屈	1		1	16					
厚岸翔洋	1	水 1	2	57					
＊霧 多 布	2		2	47					
13校	29	9	38	227			普▲1		

根室学区高校配置計画

区　分	R６ (2024)	R７ (2025)	R８ (2026)	R９ (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	令和7～13 (2025～ 2031)年まで の増減	令和10～13 (2028～ 2031)年まで の増減
学区内中卒者数	618	582	532	594	541	525	461	494	▲ 124	▲ 100
対前年増減		▲ 36	▲ 50	＋ 62	▲ 53	▲ 16	▲ 64	＋ 33		
根室市中卒者数	(181)	(155)	(140)	(150)	(134)	(153)	(131)	(139)	▲ 42	▲ 11
対前年増減		▲ 26	▲ 15	＋ 10	▲ 16	＋ 19	▲ 22	＋ 8		

学校名	令和６年度 (2024年度)の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	R６ (2024) 欠員	令和７年度 (2025年度)	令和８年度 (2026年度)	令和９年度 (2027年度)	令和10～13年度（2028～2031年度） までの見通し	摘要
単　根　室	3	商　2	5	54				○４年間で２～３学級に相当する中卒者の減 ○欠員が４０人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要 ○地域連携校等について、５月１日現在の在籍者数が２０人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けて再編整備の留保の検討が必要	
別　海	3→2	農　1	3	45	普＋１ (計画変更)				R６(2024)入選第２次募集後学級減
中 標 津	4→3	商　1	4	14	普＋１ (計画変更)				標津、羅臼の協力校 R６(2024)入選第２次募集後学級減
地　標　津	1		1	24					
*中標津農業		農　2	2	45					
中高地　羅　臼	1		1	16					
6校	12→ 10	6	16	198	普＋２				

解	テレビ・ラジオ インターネット	９月３日	１３時
禁	新　　聞	９月３日	夕刊以降

令和７年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画の概要

○　策定の考え方

趣　旨：　特別支援学校高等部進学希望者数に見合った定員を確保するため、令和７年度（2025年度）の計画を策定

基本的考え方：　令和６年度（2024年度）における特別支援学校中学部、中学校特別支援学級の卒業予定者のうち、進学を希望する者の状況に応じて高等部第１学年の学級数及び定員を設定

１　令和７年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画について（※計画案からの変更箇所は網掛けのとおり）

【本　科】

区　分	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増　減		摘　要
	学級数	定員	学級数	定員	学級数	定　員	
視覚障害	**5**	**25**	**4**	**17**	**▲1**	**▲8**	國札幌視覚支援
聴覚障害	**6**	**38**	**7**	**41**	**1**	**3**	**㊊高等聾**
知的障害	**221**	**1,493**	**220**	**1,510**	**▲1**	**17**	
職業学科等	110	880	112	896	2	16	㊊函館高等支援ほか１校
職業学科等以外	111	613	**108**	**614**	**▲3**	**1**	
普通科	56	448	58	464	2	16	㊊美唄養護ほか５校 國**札幌伏見支援ほか３校**
普通科（重複）	42	126	**37**	**111**	**▲5**	**▲15**	㊊平取養護ほか１校 國美唄養護ほか**５校**
普通科(訪問)	13	39	13	39	0	0	
肢体不自由	**33**	**119**	**31**	**108**	**▲2**	**▲11**	
職業学科	3	24	2	16	▲1	▲8	國岩見沢高等養護
普通科	1	8	1	8	0	0	
普通科（重複）	20	60	19	57	▲1	▲3	㊊真駒内養護ほか１校 國手稲養護ほか３校
普通科(訪問)	9	27	9	27	0	0	
病　弱	**6**	**33**	**7**	**36**	**1**	**3**	**㊊市立札幌山の手支援**
合　計	**271**	**1,708**	**269**	**1,712**	**▲2**	**4**	

※計画案からの変更箇所（内訳）

区　分		学校名	令和７年度計画案		令和７年度計画		増　減	
			学級数	定　員	学級数	定　員	学級数	定　員
聴覚障害普通科(重複)		高　等　聾	2	6	3	9	+1	+3
知的障害普通科		札幌養護白桜高等学園	5	40	6	48	+1	+8
		七　飯　養　護	5	40	4	32	▲1	▲8
	(重複)	札幌養護白桜高等学園	2	6	3	9	+1	+3
	(重複)	北　見　支　援	1	3	2	6	+1	+3
病弱普通科(重複)		市立札幌山の手支援	1	3	2	6	+1	+3

【専攻科】

区　分	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増　減	
	学級数	定　員	学級数	定　員	学級数	定　員
視覚障害	**3**	**24**	**3**	**24**	**0**	**0**
聴覚障害	**1**	**8**	**1**	**8**	**0**	**0**
合　計	**4**	**32**	**4**	**32**	**0**	**0**

２　知的障害特別支援学校高等部（職業学科等）の配置の見通し（※計画案からの変更箇所は網掛けのとおり）

区　分	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		今後の見通し	
					令和８年度（2026年度）	令和９年度（2027年度）
	学級数	定　員	学級数増減	定員増減		
道　央（11校）	64	512	±0	±0	○８学級相当の定員の確保を検討（既設校で対応）	－
道南（３校）	9	72	＋1	＋8	－	－
道北（４校）	13	104	＋1	＋8	－	－
オホーツク（１校）	4	32	±0	±0	○１学級相当の定員の確保を検討（既設校で対応）	－
十勝（３校）	10	80	±0	±0	－	－
釧根（２校）	10	80	±0	±0	－	－

解	テレビ・ラジオ インターネット	９月３日　１３時
禁	新　　聞	９月３日　夕刊以降

令和７年度（2025年度）

公立特別支援学校配置計画

令和６年（2024年）９月
北海道教育委員会

Ⅰ　令和７年度（2025年度）公立特別支援学校配置計画の考え方

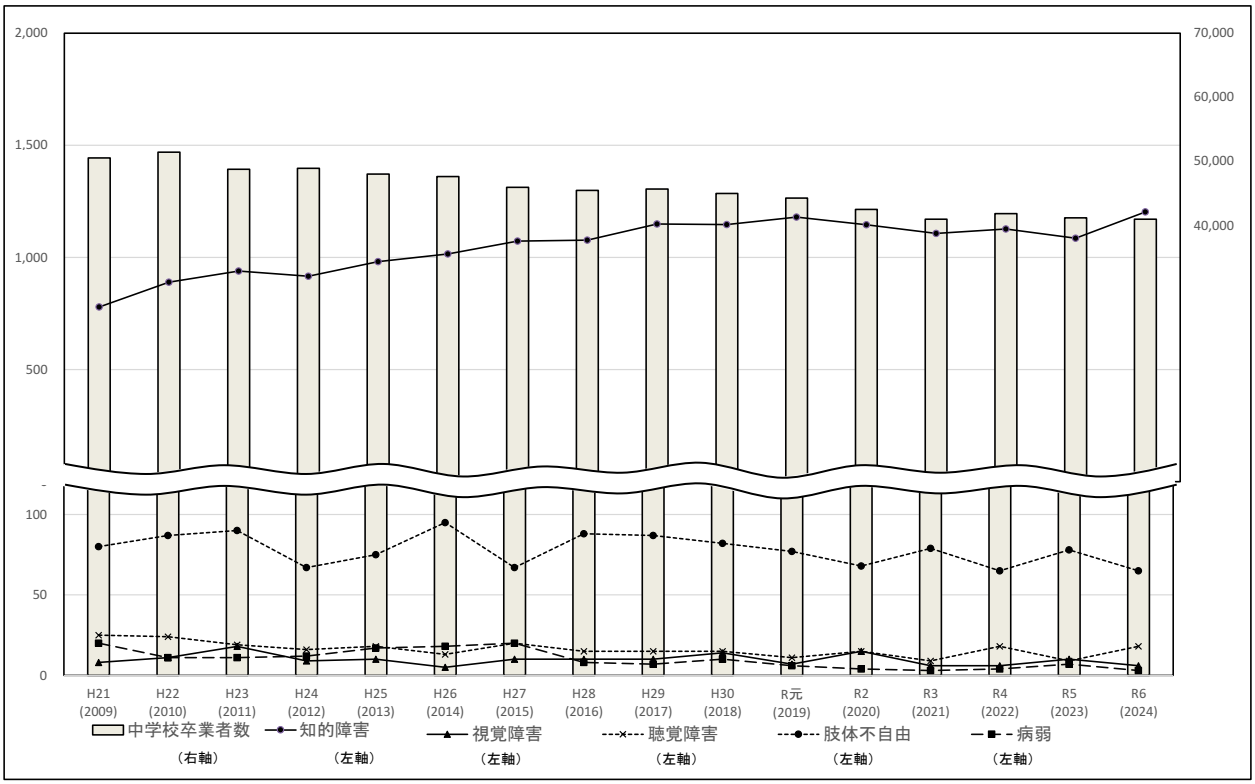
○　趣旨

公立特別支援学校配置計画（以下「配置計画」という。）は、特別支援学校高等部進学希望者を受け入れるため、次の考え方により策定する。

１　特別支援学校高等部への進学者数の推移

中学校卒業者数の減少（H21～R6(2009～2024) 18.9%減）に対して、知的障害特別支援学校高等部への進学者数は増加傾向（H21～R元（2009～2019）51.5%増）にあったが、令和２年度（2020年度）以降は、横ばいとなっている。

【中学校卒業者数と特別支援学校高等部（第１学年）生徒数の推移】



年度		H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
中学校卒業者数		50,537	51,437	48,778	48,907	48,015	47,620	45,958	45,458	45,689	44,989	44,255	42,496	40,983	41,845	41,178	40,966
特別支援学校高等部（第１学年）生徒数	視覚障害	8	11	18	9	10	5	10	10	10	14	7	15	6	6	10	6
	聴覚障害	25	24	19	16	18	13	20	15	15	15	11	15	9	18	9	18
	知的障害	779	890	939	916	981	1,016	1,073	1,077	1,149	1,147	1,180	1,146	1,107	1,127	1,086	1,203
	肢体不自由	80	87	90	67	75	95	67	88	87	82	77	68	79	65	78	65
	病弱	20	11	11	12	17	18	20	8	7	10	6	4	3	4	7	3
	計	912	1,023	1,077	1,020	1,101	1,147	1,190	1,198	1,268	1,268	1,281	1,248	1,204	1,220	1,190	1,295

注）中学校卒業者数は、表示している年の３月の卒業者数（実数）であり、特別支援学校高等部（第１学年）生徒数は、同年５月１日現在の在籍者数である（R6（2024）は速報値）。

２　学級数及び定員の設定

令和６年度（2024年度）における特別支援学校中学部、中学校特別支援学級の卒業予定者等のうち、進学を希望する者の状況に応じて高等部第１学年の学級数及び定員を設定する。

Ⅱ　配置計画の概要

1　視　覚　障　害　（本科４学級17人定員、専攻科３学級24人定員）

学　級　減 （1校・1学科 1学級）	札幌視覚支援学校　本科	普通科	１学級８人定員減

2　聴　覚　障　害　（本科７学級41人定員、専攻科１学級８人定員）

学　級　増 （1校・1学科 1学級）	高等聾学校　本科	普通科（重複）	１学級３人定員増

3　知　的　障　害　（本科220学級1,510人定員）

学　級　増 （10校・3学科 11学級）	函館高等支援学校ほか１校	職業学科	２学級16人定員増
	美唄養護学校ほか５校	普通科	６学級48人定員増
	平取養護学校ほか１校	普通科（重複）	３学級９人定員増
学　級　減 （10校・2学科 12学級）	札幌伏見支援学校ほか３校	普通科	４学級32人定員減
	美唄養護学校ほか５校	普通科（重複）	８学級24人定員減

4　肢 体 不 自 由　（本科31学級108人定員）

学　級　増 （2校・1学科 3学級）	真駒内養護学校ほか１校	普通科（重複）	３学級９人定員増
学　級　減 （5校・2学科 5学級）	岩見沢高等養護学校	職業学科	１学級８人定員減
	手稲養護学校ほか３校	普通科（重複）	４学級12人定員減

5　病　　弱　（本科７学級36人定員）

学　級　増 （1校・1学科 1学級）	市立札幌山の手支援学校	普通科（重複）	１学級３人定員増

6　定　　員

【公 立 本 科】

区分（障害種別）	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）				備考
	出願者 A 人	定員 B 人	進学希望見込数 C 人	定員 D 人	定員比率 D/C %	差引 D-B 人	
視覚障害	6	25	11	17	154.5	▲ 8	
聴覚障害	18	38	19	41	215.8	3	
知的障害	1,168	1,493	1,317	1,510	114.7	17	
肢体不自由	66	119	83	108	130.1	▲ 11	
病　弱	2	33	9	36	400.0	3	
合　計	1,260	1,708	1,439	1,712	119.0	4	

【公 立 専 攻 科】

区分（障害種別）	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）				備考
	出願者 A 人	定員 B 人	進学希望見込数 C 人	定員 D 人	定員比率 D/C %	差引 D-B 人	
視覚障害	2	24	14	24	171.4	0	
聴覚障害	5	8	5	8	160.0	0	
合　計	7	32	19	32	168.4	0	

（参考）

【国立（北海道教育大学附属特別支援学校）】

区分（障害種別）	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		備考
	入学者 人	定員 人	進学希望見込数 人	定員 人	
知的障害	8	8	－	8	

【私立（日本体育大学附属高等支援学校）】

区分（障害種別）	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		備考
	入学者 人	定員 人	進学希望見込数 人	定員 人	
知的障害	28	40	－	40	

Ⅲ　配置計画の学校別の学級数・定員

【本科・視覚障害】

学校名	学科名		令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
			学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
札幌視覚支援学校	本科	普通科	2	16	1	8	▲ 1	▲ 8
		普通科（重複）	3	9	3	9	0	0
	計		5	25	4	17	▲ 1	▲ 8
視覚障害計　１校			5	25	4	17	▲ 1	▲ 8

【本科・聴覚障害】

学校名	学科名		令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
			学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
高等聾学校	本科	普通科	1	8	1	8	0	0
		普通科（重複）	2	6	3	9	1	3
		産業技術科	1	8	1	8	0	0
		生活情報科	1	8	1	8	0	0
		クリーニング科	1	8	1	8	0	0
	計		6	38	7	41	1	3
聴覚障害計　１校			6	38	7	41	1	3

【本科・知的障害（職業学科等）】

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
雨竜高等養護学校	農業科	1	8	1	8	0	0
	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	工業科	1	8	1	8	0	0
	計	5	40	5	40	0	0
札幌高等養護学校	農業科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	2	16	2	16	0	0
	木工科	2	16	2	16	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	クリーニング科	1	8	1	8	0	0
	計	7	56	7	56	0	0
札幌稲穂高等支援学校	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	4	32	4	32	0	0
札幌あいの里高等支援学校	普通科	3	24	3	24	0	0
	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	1	8	1	8	0	0
	被服デザイン科	1	8	1	8	0	0
	食品デザイン科	1	8	1	8	0	0
	福祉サービス科	1	8	1	8	0	0
	計	8	64	8	64	0	0
千歳高等支援学校	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	2	16	2	16	0	0
	計	3	24	3	24	0	0
白樺高等養護学校	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	工業科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	クリーニング科	1	8	1	8	0	0
	計	6	48	6	48	0	0
新篠津高等養護学校	園芸科	1	8	1	8	0	0
	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	クリーニング科	1	8	1	8	0	0
	計	6	48	6	48	0	0
小樽高等支援学校	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	2	16	2	16	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	福祉サービス科	2	16	2	16	0	0
	計	7	56	7	56	0	0
伊達高等養護学校	農業科	1	8	1	8	0	0
	園芸科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	工業科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	6	48	6	48	0	0

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
函館高等支援学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	生産技術科	1	8	2	16	1	8
	食品デザイン科	1	8	1	8	0	0
	福祉デザイン科	1	8	1	8	0	0
	計	4	32	5	40	1	8
北斗高等支援学校	環境・流通サポート科	1	8	1	8	0	0
	福祉サービス科	1	8	1	8	0	0
	計	2	16	2	16	0	0
今金高等養護学校	農業科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	3	24	3	24	0	0
旭川高等支援学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	1	8	1	8	0	0
	福祉サービス科	1	8	1	8	0	0
	計	4	32	4	32	0	0
美深高等養護学校	農業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	工業科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	0	0	1	8	1	8
	被服デザイン科	1	8	1	8	0	0
	食品デザイン科	1	8	1	8	0	0
	計	5	40	6	48	1	8
美深高等養護学校あいべつ校	産業総合科	2	16	2	16	0	0
	計	2	16	2	16	0	0
小平高等養護学校	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	計	2	16	2	16	0	0
紋別高等養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	園芸科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	4	32	4	32	0	0
新得高等支援学校	木工科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	2	16	2	16	0	0
中札内高等養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	農業科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	工業科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	6	48	6	48	0	0
中札内高等養護学校幕別分校	産業総合科	2	16	2	16	0	0
	計	2	16	2	16	0	0
釧路鶴野支援学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	生産技術科	1	8	1	8	0	0
	情報ものづくり科	1	8	1	8	0	0
	環境・流通サポート科	1	8	1	8	0	0
	食品デザイン科	1	8	1	8	0	0
	福祉サービス科	1	8	1	8	0	0
	計	6	48	6	48	0	0
中標津支援学校	園芸科	1	8	1	8	0	0
	窯業科	1	8	1	8	0	0
	木工科	1	8	1	8	0	0
	家庭総合科	1	8	1	8	0	0
	計	4	32	4	32	0	0
（札幌市立）市立札幌豊明高等支援学校	流通サービス科	1	8	1	8	0	0
	クリーンサービス科	1	8	1	8	0	0
	リサイクルサービス科	1	8	1	8	0	0
	工芸ものづくり科	1	8	1	8	0	0
	服飾ものづくり科	1	8	1	8	0	0
	計	5	40	5	40	0	0
（札幌市立）市立札幌みなみの杜高等支援学校	普通科職業コース	7	56	7	56	0	0
	計	7	56	7	56	0	0
知的障害（職業学科等）計　24校		110	880	112	896	2	16

【本科・知的障害(職業学科等以外)】

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
夕張高等養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
美唄養護学校	普通科	2	16	3	24	1	8
	普通科（重複）	2	6	1	3	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	5	25	5	30	0	5
南幌養護学校	普通科	3	24	3	24	0	0
	普通科（重複）	2	6	1	3	▲ 1	▲ 3
	計	5	30	4	27	▲ 1	▲ 3
札幌養護学校白桜高等学園	普通科	6	48	6	48	0	0
	普通科（重複）	3	9	3	9	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	10	60	10	60	0	0
札幌養護学校共栄分校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	2	6	1	3	▲ 1	▲ 3
	計	3	14	2	11	▲ 1	▲ 3
星置養護学校ほしみ高等学園	普通科	4	32	4	32	0	0
	普通科（重複）	5	15	2	6	▲ 3	▲ 9
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	10	50	7	41	▲ 3	▲ 9
札幌伏見支援学校	普通科	3	24	2	16	▲ 1	▲ 8
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	計	5	30	4	22	▲ 1	▲ 8
札幌伏見支援学校もなみ学園分校	普通科	2	16	3	24	1	8
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	3	19	4	27	1	8
余市養護学校	普通科	2	16	2	16	0	0
	普通科（重複）	2	6	1	3	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	5	25	4	22	▲ 1	▲ 3
余市養護学校しりべし学園分校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
室蘭養護学校	普通科	3	24	4	32	1	8
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	6	33	7	41	1	8
平取養護学校	普通科	3	24	2	16	▲ 1	▲ 8
	普通科（重複）	1	3	3	9	2	6
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	5	30	6	28	1	▲ 2
平取養護学校静内ペテカリの園分校	普通科	2	16	1	8	▲ 1	▲ 8
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	3	19	2	11	▲ 1	▲ 8
七飯養護学校	普通科	3	24	4	32	1	8
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	6	33	7	41	1	8
七飯養護学校おしま学園分校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
鷹栖養護学校	普通科	2	16	2	16	0	0
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	計	4	22	4	22	0	0
東川養護学校	普通科	3	24	2	16	▲ 1	▲ 8
	普通科（重複）	1	3	2	6	1	3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	5	30	5	25	0	▲ 5
稚内養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	3	14	3	14	0	0
北見支援学校	普通科	3	24	3	24	0	0
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	6	33	6	33	0	0
紋別養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	3	14	3	14	0	0
紋別養護学校ひまわり学園分校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
帯広養護学校	普通科	3	24	4	32	1	8
	普通科（重複）	3	9	2	6	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	7	36	7	41	0	5

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
釧路養護学校	普通科	4	32	5	40	1	8
	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	7	41	8	49	1	8
中標津支援学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
普通科計		56	448	58	464	2	16
普通科（重複）計		42	126	37	111	▲ 5	▲ 15
普通科（訪問）計		13	39	13	39	0	0
知的障害(職業学科等以外)計　24校		111	613	108	614	▲ 3	1

知的障害計　47校		221	1,493	220	1,510	▲ 1	17

【本科・肢体不自由】

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
岩見沢高等養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	工業科 商業科 生活科学科	3	24	2	16	▲ 1	▲ 8
	計	4	32	3	24	▲ 1	▲ 8
真駒内養護学校	普通科（重複）	5	15	6	18	1	3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	6	18	7	21	1	3
手稲養護学校	普通科（重複）	2	6	1	3	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	3	9	2	6	▲ 1	▲ 3
拓北養護学校	普通科（重複）	3	9	2	6	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	4	12	3	9	▲ 1	▲ 3
函館養護学校	普通科（重複）	3	9	2	6	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	4	12	3	9	▲ 1	▲ 3
旭川養護学校	普通科（重複）	2	6	4	12	2	6
	普通科（訪問）	4	12	4	12	0	0
	計	6	18	8	24	2	6
網走養護学校	普通科（重複）	3	9	2	6	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	1	3	1	3	0	0
	計	4	12	3	9	▲ 1	▲ 3
（札幌市立）市立札幌北翔支援学校	普通科（重複）	2	6	2	6	0	0
	計	2	6	2	6	0	0
小計	普通科（重複）	20	60	19	57	▲ 1	▲ 3
	普通科（訪問）	9	27	9	27	0	0
肢体不自由計　8校		33	119	31	108	▲ 2	▲ 11

【本科・病弱】

学校名	学科名	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
手稲養護学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
手稲養護学校三角山分校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	1	3	0	0
	計	2	11	2	11	0	0
（札幌市立）市立札幌山の手支援学校	普通科	1	8	1	8	0	0
	普通科（重複）	1	3	2	6	1	3
	計	2	11	3	14	1	3
小計	普通科	3	24	3	24	0	0
	普通科（重複）	3	9	4	12	1	3
病弱計　3校		6	33	7	36	1	3

合計　【本科】　60校		271	1,708	269	1,712	▲ 2	4

【専攻科】

学校名	学科名		令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		増減	
			学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員
札幌視覚支援学校	専攻科	理療科	2	16	2	16	0	0
		保健理療科	1	8	1	8	0	0
	計		3	24	3	24	0	0
高等聾学校	専攻科	情報デザイン科	1	8	1	8	0	0
	計		1	8	1	8	0	0

合計　【専攻科】　2校		4	32	4	32	0	0

Ⅳ　知的障害特別支援学校高等部（職業学科等）の配置の見通し

区　分	令和６年度（2024年度）		令和７年度（2025年度）		今後の見通し	
	学級数	定　員	学級数増減	定員増減	令和８年度 （2026年度）	令和９年度 （2027年度）
	学　校　名		摘　　要			
道　央	64	512	±0	±0	○８学級相当の定員の確保を検討 （既設校で対応）	－
	雨竜高等養護学校 札幌高等養護学校 札幌稲穂高等支援学校 札幌あいの里高等支援学校 千歳高等支援学校 白樺高等養護学校 新篠津高等養護学校 小樽高等支援学校 伊達高等養護学校 市立札幌豊明高等支援学校 市立札幌みなみの杜高等支援学校					
道　南	9	72	＋1	＋8	－	
	函館高等支援学校 北斗高等支援学校 今金高等養護学校		【既設校】＋１ 函館高等支援学校			
道　北	13	104	＋1	＋8	－	
	旭川高等支援学校 美深高等養護学校 美深高等養護学校あいべつ校 小平高等養護学校		【既設校】＋１ 美深高等養護学校（臨時学級減解消）			
オホーツク	4	32	±0	±0	○１学級相当の定員の確保を検討 （既設校で対応）	
	紋別高等養護学校					
十　勝	10	80	±0	±0	－	
	新得高等支援学校 中札内高等養護学校 中札内高等養護学校幕別分校					
釧　根	10	80	±0	±0	－	
	釧路鶴野支援学校 中標津支援学校					
計	110	880	＋2	＋16		

注　：　道央圏については、さらに数年後、出願者数の増加が見込まれるため、既存施設等の活用による対応を検討する必要がある。